

よい豚のもとをたどればよい種豚



国産純粋種豚改良協議会だより



種豚の選抜に育種価を
活用しましょう!!

第2号 2018.2.14発行

今日は聖バレンタイン。来年はチョコではなく、ハート型の豚肉料理、いかがですか。
レシピやアイデア、是非お寄せ下さい

～種豚交流活用事業報告～ 美脚、できました!! その2

昨年、家畜改良センターがアイルランドより導入したランドレースの精液配布を、当協議会会員優先で行って頂きました。精液採取をした個体の脚はお世辞にも理想の脚とは・・・でした。しかし DG などの育種は良いものを持っており、会員数名がこれを購入しました。協議会だより第1号にて、山田ブリーディングファームからの「脚、改良しました!!」報告をお伝えしましたが、熊本県の淋種豚場からも美脚改良報告を頂きました。

海外の種豚の繁殖能力をはじめとする成績は確かにすばらしいものがあります。しかし、健康で丈夫な子を作りだすための体型を作る能力は我が国の改良もまだ負けてはいないと思います。それが今回の嬉しい報告であり、山田・淋お二方の種豚生産者としての素晴らしい技術は本協議会の重要な力になります。

今後も広く会員間で種豚交流を実施したいと思います。また、特定の改良テーマを決めて取り組む交流事業も今後検討して行きたいと思います。是非、ご提案等お待ちしています。

淋種豚場では産子の精液配布は相談に応じて対応してくれるとの回答を頂いております。この件についての詳細は事務局まで御連絡下さい。(まだ、種畜検査受検前です。配布可能になるまで少々お待ち下さい。)



元気よく安定的に歩いているのが良く分かる脚だよね。

中ヨークシャー種・バークシャー種が改良取組み品種になりました

協議会では改良取組み品種を、ランドレース種・大ヨークシャー種・デュロック種の3品種としてきましたが、中ヨークシャー種とバークシャー種についても改良取組み品種とし扱っていくことになりました。(同一基準遺伝的能力評事業については現在検討中です)こちらの2品種は単体での肉質にも注目はもちろん、生産過程で交配することでより特徴ある豚肉生産ができるという声もあります。

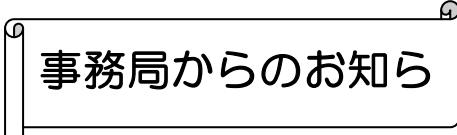
皆様の周りにいらっしゃる、中ヨークシャー種及びバークシャー種の生産者及び試験研究機関の方に是非、お声かけを!! 詳細や御不明点等は事務局まで御連絡下さい。

国産純粋種豚改良協議会の現在の会員数は、生産者会員が23名、団体及び試験研究機関会員が当協会含め6名です。オブザーバー会員は17名となっております。正会員への変更手続き、お待ちしています!!

銘柄豚認定 WG 委員大募集中です ~生産者・試験研究機関の会員のみなさん!!~

協議会だより第1号で一緒にお送りしました、国産純粋種豚改良協議会 銘柄豚認定WGの委員を募集中です。生産者及び試験研究機関の会員の方より2~3名お願いしたいと考えています。是非、立候補をよろしくお願ひいたします。(すでに生産者会員の方2名より立候補を頂いております。)

また、このWGで(仮称)サポートー会員制度についても検討して行く予定です。



「国産純粋種豚改良協議会」は
平成28年3月31日、オールジャパンでの種豚改良を目指して発足しました。

★引き続き・・・国産純粋種豚改良協議会 呼称案募集中

国産純粋種豚改良協議会の活動が世界から注目される日も遠くありません!!そのための英称や英称に基づく呼称をつけたいと思います。只今、会員及びオブザーバーの皆様からの案を大募集中です。協議会がますます元気になるようなネーミングをお待ちしています。(応募先は事務局まで。)

また、協議会のロゴマークも募集中です。よろしくお願ひいたします。

★平成29年度 種豚導入補助事業 ご案内

事務局である一般社団法人 日本養豚協会では平成29年度、2事業の種豚導入補助事業の事業実施主体をやっています。国産純粋種豚の能力底上げが根底の目標になった2本の事業ですが、要件などがそれぞれ違います。すでに会員及びオブザーバーの方で事業参加されて、積極的に改良のための導入を行っている方もおられます。せっかくの補助事業です。協議会の目標達成の為にも是非、有効活用しましょう。なお、本年度事業の導入期限が迫っているため、ご希望の方はお早めによろしくお願ひいたします。

(お問い合わせは事務局の湯浅まで。)

★協議会内部での種豚交流について

改良のスピードアップのため、ひとつの指標となる遺伝的能力評価精度を向上を図るために協議会員間での血縁構築が重要となってきます。是非、会員間で種豚交流を実施しましょう。御連絡いただければ会員にお知らせいたしますので事務局までお願ひします。

★会員、絶賛募集中!!

より多くの種豚生産者に参加していただくことで、国産純粋種豚改良協議会の活動が盛り上がり、かつ、データがたくさん集まり、改良のスピードアップも狙えます。是非、入会をよろしくお願ひいたします。協議会についてのお問い合わせもお待ちしています。

★産肉検定について

産肉形質改良のための素材となるデータ測定についても、積極的に実施をお願いしたいところですが測定機器が無いなどのお悩みについて、協議会一丸となって取り組んで行きたいと思います。是非、事務局へお問い合わせ下さい。全体で対策を検討したいと思います。

国産純粹種豚改良協議会 会員・オブザーバー会員 紹介

協議会だより第1号で募集しました、会員・オブザーバー会員の紹介について、
続々と頂いております。まだの皆様、担当者の方のお写真も忘れずに是非、お送りください。
なお、掲載はこちらに頂いた順で紹介させていただきます。



会員名 独立行政法人北海道立総合研究機構 畜産試験場

代表者名 南橋 昭（場長）

農場所在地 北海道上川郡新得町

連絡先

081-0032 北海道上川郡新得町西5線39番地

（地独）北海道立総合研究機構畜産試験場 中小家畜グループ

TEL: 0156-64-5321（代表） （担当者：小泉、甲田）



農場規模 繁殖雄 15頭、繁殖雌 60頭

繁養品種 大ヨークシャー（ハマナスW2）

販売可能頭数など

今後、協議会会員への配布に向けて体制を整備している状況です。



コメント

ハマナスW2は平成20年に完成した大ヨークシャー系統豚です。

現在、道内SPF農場向けF1雌生産のための雌系種豚として利用されています。

日増体重を選抜形質として改良した系統豚で、

優れた発育能力が特徴です。また、適度な背脂肪厚と肢蹄の強健性・良好な繁殖能力を兼ね備えております。

畜産試験場ではSPF環境の豚舎で豚群を管理し、育種や飼養管理に関する試験研究を実施しております。今後は、選抜に育種価を利用することでハマナスW2の繁殖能力を高める改良に取り組んでまいります。



会員名 株式会社 シムコ

代表者名（担当者） 木全 誠

農場所在地

宮城県大崎市、千葉県館山市、富山県富山市、秋田県大館市、鹿児島県薩摩郡、鹿児島県阿久根市

連絡先（事務所所在地）

本社・東日本営業所：東京都江東区亀戸 TEL03-5626-2311

西日本営業所：鹿児島県鹿児島市 TEL099-260-0262

農場規模 GGP 700頭、GP 3,000頭

繁養品種 (販売) F1、D雄、B雌雄





コメント

販売可能頭数など 要相談
(本社・営業所へお問合せください)
シムコオリジナルラインの
スイートマミー・パワーボムで
純国産の美味しい豚肉作りをバックアップします。



会員名 淋種豚場

代表者名（担当者） 淋 博道

農場所在地

連絡先（事務所所在地） 熊本県球磨郡球磨村一勝地丁 590

農場規模 母豚 35 頭 雄 8 頭

繁養品種（販売） ランドレース 大ヨークシャー デュロック



今回の美脚製作
仕事人です



会員名 (独) 家畜改良センター茨城牧場

代表者名（担当者） 白戸 綾子

農場所在地 茨城県筑西市藤ヶ谷2330

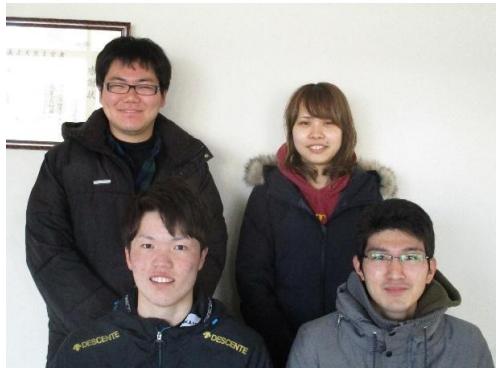
連絡先（事務所所在地など）

事務所所在地：茨城県筑西市藤ヶ谷2330

電話：0296-37-6511

FAX：0296-20-3020

E-mail：nlbc_ibaraki@nlbc.go.jp



今年入った期待の新人 4名です!!

農場規模 母豚 240 頭 (L120 頭、W60 頭、D30 頭、Y15 頭、M15 頭)

繁養品種 ランドレース、大ヨークシャー、デュロック、中ヨークシャー、梅山豚

販売可能頭数など

平成30年度年間配布予定数

ランドレース：30頭（5～6月：10頭、8～9月：20頭）

デュロック：20頭（11～12月）

中ヨークシャー：10頭（11～12月）

梅山豚：10頭（11～12月）

大ヨークシャー：60頭（2～3月）

コメント

国内外の優れた育種素材、有用な遺伝子情報、遺伝的能力評価技術、高度な繁殖技術等を活用するとともに、高度な衛生管理レベルを維持しながら改良を進めています。

（左：ランドレース、右：大ヨークシャー）



★国産純粹種豚改良協議会だより について

普段なかなか集まることのできない、会員及びオブザーバーの交流の場としても是非ご活用ください。掲載希望記事や掲載希望コーナーなどの御提案をお待ちしています。事務局までどんどんお寄せ下さい。また、改良に関する質問なども受け付けております。

（例：会員及びオブザーバーの紹介コーナー、会員及びオブザーバーに関するトピックコーナーなど）



【事務局のつぶやき】

去る2月2日・3日、一般社団法人日本養豚協会青年部主催の青年部生産経営セミナーが東京・品川にて開催されました。毎年様々な養豚生産経営についてのテーマで講師を招いていますが、コマのなかに今年は種豚メーカーからのプレゼンが組み込まれていました。

参加した9メーカーのうち、4メーカーが本協議会の会員及びオブザーバーでした。

しかし、半数は海外の種豚メーカーであり、枠をもらって本協議会もプレゼンをすべきであったのでは、と反省をしているところです。海外の種豚メーカーの繁殖能力のそれは確かに数字としては驚異です。しかし、それを日本で使いこなせるか、日本で求められる肉質を作りだせるか。種豚に対する課題は尽きないな、と痛感しました。

国産純粹種豚改良協議会 事務局 一般社団法人 日本養豚協会 担当：小磯・湯浅・神長

〒1510053 東京都渋谷区代々木2-27-15 高栄ビル2階

電話：03-3370-5473 FAX：03-3370-7937 E-Mail：n.yuasa@pig-pins.com